



広報 ひたちおおた

令和5年
2023
3月号

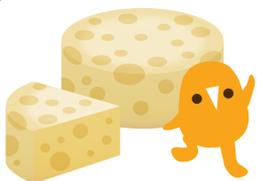
No.736

自動運転EVバスと
じょうづるさん

自動運転
EVバス実証実験を
行いました!



特集



ひたちおおたチーズ物語

- 令和4年度カーボンニュートラルポスターコンクール ……P14
- 市からのお知らせ ……P17

広報
ひたちおおたが
WEBでも読める





ひたちおおた
チーズ物語
 Farm to ▶
 Factory to ▶ Dish



水戸京成ホテルレストランで提供されている
 モッツアレラチーズのガーリックオイルマリネ

水戸京成ホテルのフェアで提供された
 モッツアレラチーズとマッシュルームの
 ローズポーク包焼き



里美地区の旧学校給食センターを改修した施設でナチュラルチーズ製造を行っている「ひたちおおたチーズ工房」。昨年には、国産ナチュラルチーズのコンクールジャパンチーズアワード2022で金賞・銅賞を受賞するなど、市の新たな名物として注目を浴びています。
 今回は、そんな「ひたちおおたチーズ」のおいしさの秘密を取材してきました。チーズ工房だけでなく、チーズの原料になる生乳の生産者である里美地区の酪農家さん、そしてひたちおおたチーズを使ったおいしい料理を提供している施設もご紹介します。

ひたちおおたチーズの 魅力大解剖! *Cheese from Factory*



＊ ひたちおおたチーズ工場のチーズは5種類。製造責任者の亀井
わかなさんを中心に、工房スタッフが一つひとつ手づくりしています。
ぜひ食べ比べて皆さんのお気に入りを見つけてください。



もっちり、なめらか食感の
「モッツアレラ」



ユニークな形も可愛い
「カチョカヴァッロ」



マイルドな旨味を持つ
熟成チーズ「さとやま」



みんな大好き さけるチーズ
「ストリング」



ヨーグルトのようなチーズ
「フロマーージュブラン」



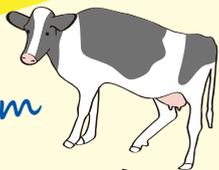
工房スタッフの皆さんが受賞の喜びを
市長に報告しました。

里美の風土を生かしたおいしいチーズ



私たちが普段食べているチーズは、一般的に「ナチュラルチーズ」と「プロセスチーズ」の二種に分けられます。このうち「ナチュラルチーズ」は、牛やヤギなどの生乳を乳酸菌や酵素の働きで固めて作るもので、モッツアレラやカマンベール、ゴーダなどなど…生乳の種類や熟成の有無、製法の違い、そして生産地の気候などでも風味が異なります。このためナチュラルチーズはとってもデリケート。作り手の技術はもちろんですが、チーズの味は原料の生乳の品質や鮮度にも大きく左右されます。ひたちおおたのチーズは、里美地区のフレッシュな牛乳だからこそできるおいしさなのです!

MILK from Farm



ひたちおおたチーズをささえる酪農家



ひたちおおたチーズ工場のチーズは、すべて市内里美地区の農家から届く生乳(100%)を原料に作られています。今回は、里美地区で酪農を営む6人に集まっていただき、牛や生乳、そしてチーズについてお話を伺いました。

(写真右から) 菊池正喜さん、佐藤俊作さん、佐藤範之さん、佐藤晃さん、萩谷宏樹さん、大野舞子さん



「美しい里」という名のとおり、美しい山と水と空気に恵まれている里美地区。昔から酪農が盛んな地域で、現在は「里美酪農青年部」を興した椎名政和さん(市チーズ製造・商品化プロジェクト協議会会長)をはじめ6軒が酪農を営んでおり、チーズの原料となる生乳を工房に提供しています。ひたちおおたチーズのおいしさを支える里美のミルクには、どのような歴史や工夫があるのでしょうか?



佐藤範之さんの牛舎でお話を伺いました



皆で協力し合い酪農を営んでいる里美地区



未来の里美を担う若き就農者の萩谷さん(認定新規就農者)と大野さん

「中」山間地域の里美は、広い土地を確保するのが難しく決して酪農に向いているわけではありません。でも、他の地域に負けないように、「水と緑とミルクの里」を目指して皆で牛自体の改良を進めてきたんです」と話してくれたのは大ベテランの菊池正喜さん。

北海道で技術を学び里美へ帰ってきた椎名会長を中心に地域一体で乳用牛の改良研究を行ってきたことにより、佐藤範之さんの牧場では令和2年の乳用牛評価成績(種雄牛)で全国第一位に輝くなど、里美の生乳は県内でもトップクラスの乳質を誇っています。里美はまさしく茨城の酪農をけん引する地域なのです。技術の探究に加え、環境に気を配りながら一頭一頭の牛を愛情持って大切に育てているからこそ良質なミルクを搾ることができるのも菊池さんは言います。里美のおいしい水と空気は、牛の健康にも良いそうです。

そんな皆さんの牛舎をまわり、朝一番で集められた新鮮な生乳が工房に届きチーズの原料になっています。ひたちおおたチーズができてからは、「チーズを手土産にすることも増えました」という声も。「里美の生乳を使っているんだよ、と話のタネにもなります。学校給食で子どもたちに親しまれているのもいい」と佐藤俊作さん。ジャパンチーズアワードでの受賞を弾みに、これからもぜひたくさんの方の評価を得られるようなおいしいチーズを作ってほしいと酪農家の皆さんも期待を寄せています。

Delicious from
Restaurant

チーズを使った美味に出会う



県内複数の飲食店で、ひたちおおたチーズを使ったおいしい料理を提供していただいています。洋食や中華など、プロの料理人による多彩なメニューをぜひ皆さんも味わってみてください。今回は、水戸京成ホテルの野澤康雄総料理長にお話を伺いました!

野 澤総料理長とひたちおおたチーズ工房の出会いは2019年、工房の準備段階の頃にさかのぼります。

「当ホテルで開催していたイベントで、展示していたチーズを食べた時にひとめ惚れしました。非常にミルク感があって、フレッシュさも全く違う。すぐにレストランのメニューに使いたいと市へ問い合わせをしたんですが、当時はまだ販売が始まっていませんでした。2020年に販売が始まったと連絡をいただいて、早速モッツアレラのメニューを作りました」と野澤総料理長。以降、水戸京成ホテルではひたちおおたチーズを使った品を欠かさずラインナップしています。おもてなしの席でコースメニューの食材としても登場し、ときには中国料理とのコラボレーションも提案。酸辣湯麺とフロマージュブランという意外な組み合わせの品は、当初の予想を大幅に超える注文が入ったヒット作になりました。



取材協力: 水戸京成ホテル
水戸市三の丸1丁目4番73号

同 ホテルでは茨城の魅力ある食材を積極的に取り入れ、食を通して生産地の応援にも取り組んでいます。食材を選ぶ際には、味だけでなくバックグラウンドにあるストーリーも大切にしていると野澤総料理長は言います。「ひたちおおたのチーズは、地元の酪農家さんたちの牛乳で作っているというのも良いですね。また、お客様に料理の説明をする際に、このチーズはコンテストで受賞したんですよというお話をすると、皆さん嬉しそうにニコニコ笑ってくれます」。

「これからも、季節や旬に合わせたチーズ料理を提供していきたい」と野澤総料理長。「最初に食べた時に感動した、ひたちおおたチーズの元々のおいしさや良いところを崩さない料理を作りたいと思っています。これからも変わらず良いチーズを作り続けていってください」と、エールを送ります。

ひたちおおたチーズが食べられるお店 (順不同)



- 常陸太田市
あひるの工房 / かなさ笑楽校
イタリアンレストラン 楽生流
- 水戸市
ホテルレイクビュー水戸 / 水戸京成ホテル レストランアンドミー
Buon lavoro cafe / de chop / クッチーナ アチエロ / Cafe PICO
レストラン イイジマ / 四川厨房 炎神 / 中川楼 / ときわ邸 M-GARDEN
- ひたちなか市
左吉 ひたちなか店 / カジュアルイタリアン チョップ
- 日立市
cucina NORD IBARAKI
- 道の駅ひたちおおた
BIENVERT / レストラン ShunSai

*店舗により、常時提供できない場合があります。

ひたちおおたチーズは
ひたちおおたチーズ工房、
道の駅ひたちおおた、
水戸京成ホテルなどで
販売しています!



交通栄誉章緑十字金章・
銀章を受章



佐藤 栄さん

菊池 保裕さん

1月18日、東京都の新宿文化センターで開催された「第63回交通安全国民運動中央大会」において、令和4年度交通栄誉章の表彰が行われました。本市では、交通事故の防止と交通秩序の確立に顕著な功績のあった太田地区交通安全協会長の菊池保裕さん（西三町）に緑十字金章（交通安全功労者）、永年無事故無違反の佐藤栄さん（増井町）に緑十字銀章（優良運転者）が贈られました。

太田一高生が観光甲子園
「空飛ぶクルマ部門」で全国大会決勝出場



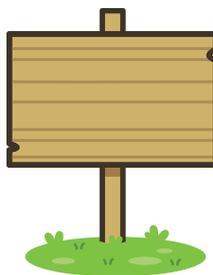
【後列左から】宮田市長、石井教諭、鈴木校長、石川教育長
【前列左から】竹林正太さん（1年）、木村吏玖さん（2年）、永井武琉さん（2年）、黒羽聖矢さん（1年）

高校生の観光事業構想コンテスト「観光甲子園」の「空飛ぶクルマ部門」に、太田一高の有志生徒4人が「茨城県北部を盛り上げる会」として出場し、決勝に進出しました。「観光甲子園」とは、全国の高校生が観光事業企画を5分間の動画にまとめて競うもので、「空飛ぶクルマ部門」では、空飛ぶクルマの実用化に向けて観光分野における事業アイデアを計画します。同部門には全国から94チームの応募があり、5チームが決勝に進出しました。決勝では、県北地域の観光や交通面の課題、アンケート調査の結果やおすすすめルート選定など空飛ぶクルマの商業運行に向けた事業計画を動画にまとめてプレゼンしました。

TOPICS

和久町に総合案内板が設置されました

12月27日、和久町において地域のお宝（地域資源）などをまとめた総合案内板が和久農村集落センターに設置されました。今回設置した総合案内板は、同町がエコミュージアム活動に取り組み、活動の中で見つけてきた地域の見どころがまとめられています。この機会にぜひ、和久町を散策してみてください。



瑞龍町でエコミュージアム活動に取り組みました

1月29日、瑞龍町において32人が参加し、「こんな地域にしたい」という想いを詰め込んだ「将来構想マップ」を作成しました。同町会では、昨年10月にお宝さがし地域探索に取り組み、今回の将来構想マップの作成にあたっては、お宝さがしで見つけた地域のお宝を参考に「こんな瑞龍町にしたい」という皆さんのアイデアを集めました。参加者からは「瑞龍のキャラクターをつくる」や「古道の整備」、「瑞龍の魅力発信」など瑞龍の将来をよりよくするための意見が出されました。最後に参加者全員で話し合い、テーマは「古代人もビックリ夢・歴史とロマンの町瑞龍」、チーム名は「瑞龍の未来を考え隊」に決定しました。



令和4年度市原子力災害広域避難訓練を実施

1月28日、令和4年度市原子力災害広域避難訓練が行われ、市職員や県職員、西小沢・幸久・世矢地区の住民等が参加しました。これは「市原子力災害広域避難計画」の実効性の向上や市民の原子力基礎知識の向上を目的に実施したもので、当日は、東海第二発電所での事故を想定して訓練を実施。市役所に災害対策本部を設置し、住民広報や屋内退避指示などを行い、公民館や小学校では地区の住民の皆さんが参加し、屋内退避の実習や避難行動要支援者の避難支援の訓練を行いました。また、里美ふれあい館等での避難退域時検査訓練（スクリーニング検査）や避難所運営訓練、避難先（福島県会津美里町）への広域避難訓練も実施。今後、原子力災害時の対応手順の検証や課題の抽出に取り組みます。



世矢小での要支援者避難支援



災害対策本部



スクリーニング検査

いきいきシニアフェスタ2023

1月29日、生涯学習センターで「いきいきシニアフェスタ2023」を開催しました。市では、独自に1月29日～2月5日をフレイル予防週間とし、同週間のキックオフイベントとしてこのイベントを開催。フレイルサポーター・トレーナーの認定証交付式や、「長生き上手音頭」の披露、東京大学高齢社会総合研究機構長の飯島勝矢氏によるフレイル予防講演会を行いました。また、同会場ではフレイル予防イベントとしてミニフレイルチェック（握力測定やふくらはぎ周囲測定等）などを行い、フレイル予防への意識を高めました。



ホーリーくんが シーズン開幕をPR

2月1日、サッカーJ2水戸ホーリーホックのクラブマスケット「ホーリーくん」とホーリーホックCRCの細川淳也氏が、市役所と道の駅ひたちおおた、幸久幼稚園を訪れ、2023シーズンの開幕をPRしました。昨年本市が水戸ホーリーホックのホームタウンに加わったのを受け、来場者や子どもたちと交流しながら、チームの応援を呼びかけました。



台湾で常陸太田市をPR

2月5日～9日、台湾で県主催の「いばらき大見本市」および「いばらき大商談会」が開催され、台湾からの観光誘客による経済交流促進のため、本市も出展し市のPRを行いました。展示ブースでは、大子町との連携による「おもてなしパスポート」の配布や市プロモーション動画の放映、VRスコープによる竜神大吊橋、バンジージャンプ体験、台湾人インフルエンサーによる情報発信などを行い、多くの方に本市を知ってもらうきっかけとなりました。また、市長によるトップセールスとして、タイガーエア台湾のほか、現地旅行会社を訪問しました。今後、茨城空港への台湾便就航に合わせ、さらに本市への観光誘客の促進を図っていきます。



台湾人インフルエンサーのエリックさん

タイガーエア台湾 董事長(中央)

汁ONEカップを開催

2月12日、常陸太田駅前で第10回汁ONEカップ2023が開催されました。汁の部には13店、一般の部には16店が出店し、約4500人が来場。来場した方は、おいしい汁物を食べて身体を温めていました。汁の部では、来場者による投票が行われ、オー・ボン・ヴィヴェール・ラ・キャバンヌ(水戸市)の「韓国風カルビスープ」が第1位に輝きました。



自動運転EVバス実証実験

2月17日～23日、市内で自動運転EVバスの実証実験を行いました。これは公共交通における多様な移動ニーズへの対応や魅力あるまちづくりを推進することなどを目的に実施したもので、期間中、市役所とJR常陸太田駅間の往復運行を行い、計619人の方が乗車しました。乗車した方からは、「安心して乗ることができた」などのご意見をいただきました。



手作りのつるし飾りを展示

パルティホールのロビーにおいて、手芸サークル「布遊」のつるし飾りを展示しています。今年の干支である「うさぎ」をはじめ、動物たちや美しい花々が飾られています。展示は3月26日(日)までです(観覧無料)。



ライフステージごとに必要な手続きをお忘れなく

成人、就職、結婚、定年…。人生には、さまざまなできごとがあります。そのような人生の転機には、将来受け取る大切な年金のために、国民年金の手続きを忘れずに行いましょう。

〔各種手続き先〕

保険年金課年金医療係

(内線117・118)

各支所地域振興課市民生活係

〔年金に関するお問い合わせ先〕

水戸北年金事務所

(029・231・2283)

20歳になったとき

原則、お手続きは不要です。20歳になってからおおむね2週間以内に、日本年金機構から「基礎年金番号通知書」、「国民年金加入のお知らせ」、「国民年金保険料納付書」、「学生納付特例申請書」等が送付されます(厚生年金保険・共済組合の加入者を除く)。

*学生納付特例を希望する方は、学生であることが確認できる書類(学生証の写し等)を併せてお持ちください。

就職したとき

厚生年金への加入の手続きは勤務先で行います。厚生年金に加入した月の分から、国民年金の保険料を納める必要はありません。

配偶者(厚生年金加入者)の扶養に入ったとき

厚生年金の扶養に入る手続きは配偶者の勤務先で行います。扶養に入った月の分から、国民年金の保険料を納める必要はありません。

住所・氏名が変わったとき

国民年金に加入している方や年金を受給している方が、転居や結婚などにより住所・氏名が変わった場合は、届出が省略できます。ただし、日本年金機構において個人番号が未収録となっている方や、海外居住等で個人番号をお持ちでない方は、届出が必要です。

*年金を受給している方は年金の受取機関に対して氏名変更の手続きを行うってください。双方の氏名(フリガナ)が相違していると年金の受取ができなくなりますのでご注意ください。

退職したとき

退職により厚生年金を辞めたとき、60歳までは国民年金に加入する必

要があります。

●持参する物…退職日がわかるもの

配偶者(厚生年金加入者)の扶養をはずれたとき

配偶者が退職したり、本人の収入が増えたりして、厚生年金の扶養をはずれた場合、国民年金に加入する必要があります。

●持参する物…扶養からはずれた日がわかるもの

60歳になったとき

特に手続きの必要はありません。国民年金保険料の納付は、60歳になる月の前月分までです。60歳までに10年の年金受給資格期間に到達しない方、または到達していても満額を受給できる期間を満たしていない方は、65歳になるまで任意で国民年金に加入することができます。

老齢基礎年金を請求するとき

老齢基礎年金を受給するのは原則65歳からです。老齢基礎年金の受給権を満たした方には、65歳になる2〜3カ月前に請求書が届きま

すので、手続きをしてください。

*申出により、60歳から年金を受給することもできますが、請求するときの年齢に応じて年金額が減額され、その支給率は一生変わりませんのでご注意ください。

不慮の事故などで重度の障害が残ったとき

国民年金に加入している間にかかった病気やケガが原因で一定以上の障害が残った場合、保険料の納付要件を満たしているときは、障害基礎年金を受け取ることができます。

年金を受給している方が亡くなったとき

まだ受け取っていない年金や亡くなった日より後に振込まれた年金のうち、亡くなった月分までの年金については、その方と生計を同じくしていた配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹・その他3親等以内の親族が未支給年金として受け取ることができます。

●持参する物…亡くなられた方の年金証書・請求者の口座番号がわかるもの(通帳等)、請求者のマイナンバーカードか通知カード

空き家や空き地の適正管理について

◆問：市民協働推進課市民安全係（内線170・171）

市では、空き家や空き地が適正に管理されず、瓦や外壁等の飛散、生い茂った草木が隣地にはみ出したりするなどの生活環境を害する問題に対応するため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」と「市の空き家や空き地の適正管理に関する条例」に基づき、空き家や空き地の所有者等に対して、適正管理へ向けた意識の啓発や助言・指導などを行っています。

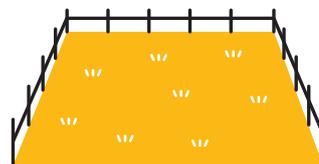


法や条例の対象となる空き家・空き地とは

●**空き家**：おおむね年間を通じて居住・使用がされていない建築物およびその敷地のうち、管理不全で周辺に迷惑や危険を及ぼしているもの



●**空き地**：市内に所在する宅地化された土地であって、人の出入りがなく、継続的な使用がされていない土地（農地や山林、急傾斜地等は除く）のうち、空き家と同様に、周辺に迷惑や危険を及ぼしているもの



空き家や空き地の適正な管理は所有者等の責任です

空き家等を管理不全な状態で放置した結果、建築資材の飛散、落下などにより近隣の家屋や通行人などに被害を及ぼした場合、所有者等は損害賠償など管理責任を問われることがあります。定期的に様子を確認し、建物の手入れや除草等をし、周辺的生活環境に悪影響を及ぼさないよう、適正管理に努めましょう。所有している空き家や空き地のご近所の方に連絡先を伝えておき、何か問題があった場合などに連絡がもらえるようにしておきましょう。



近隣の空き家・空き地でお困りの場合は

管理不全な空き家・空き地で困っていて、所有者等に連絡したいが連絡先が分からない場合は、市までご相談ください。市で現地を確認の上、管理不全な状態と認められる場合には、所有者等を調査し、その所有者等に対して、適正な管理について助言・指導などを行います。なお、空き地に含まれない農地等でお困りの場合は、それぞれの担当部署へお問い合わせください。



関 少子化・人口減少対策課(内線314・346)



常陸太田市地域おこし協力隊は、さまざまなミッションを通じて市の活性化を目指し、地域の皆さんと連携しながら活躍しています。令和5年3月現在、市では3人の隊員が「移住・定住PR」「農業の担い手」として活動中です。今回は、令和4年5月に協力隊として任命された武藤さんにお話を伺いました。

地域おこし協力隊についてはこちら(市HP) ▶



常陸太田市 地域おこし協力隊を紹介します！

Mission!
ミッション

【農業の担い手:梨】 武藤春香さん

「高校生の頃から農業に興味があり、青森県の大学の農学部に進学して勉強しました。元々、梨をはじめ果物が大好き。青森ではりんご農家でアルバイトをしていて、初めてりんごの花を見てとても感動したんです。それから自分で農業をやろうと本気で志して、ならば地元で携わりたいたいと思い、協力隊の募集を見て応募しました」という武藤さん。着任してから10カ月を迎え、梨づくりのワンシーズンを終えての感想は「体力が持たなかったり、仕事に時間がかかったり、まだまだ理解が足りない

本市を代表する特産品「梨」。市内には20軒を超える梨農家があり、美味しい梨を栽培していますが、高齢化等による後継者不足が地域全体の課題になっていきます。常陸太田の梨を盛り上げるべく、新たな担い手として仲間に加わったのが武藤さんです。武藤さんは、那珂市出身で「ターン就農。梨農家として独立を目指しながら、庄司観光梨園で研修に励んでいます。」



庄司観光梨園では10種以上の梨を栽培しており、それぞれの味の違いや特徴も学ぶためにすべて試食。中でも武藤さんお気に入り「あきづき」だそう！



梨の収穫時期は短いですが、シーズン外にもたくさんのお仕事があります。取材に伺ったときには、伸びた枝の剪定作業を行っていました。

ところがありません。収穫期に直売所に立った時には、お客さんから「この梨が美味しい！」と言ってもらえたのがとても嬉しかったです」と武藤さん。「農園の皆さんもとても気にかけてくれて、丁寧に教えてくださいます。楽しみながら研修させてもらっています」とも話してくれました。

今後は独立就農に向け、栽培技術の習得に加え、経営や相場など具体的な準備も視野に入れて活動していきます。「まずは、美味しい梨をしっかりと作れる農家になります。それから、消費者の皆さんに、どんな風に梨が育っているのかも知ってもらいたいなと思っています。私がりんごの花を見た時の感動を、皆さんにも伝えたいです」と夢を胸に活動する、期待の担い手です。

わたしたちのまちづくり

市では、自分たちの力で地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体等を「市民提案型まちづくり事業」として採択し、応援しています。



多世代向けイベントを開催し、寺院跡を憩いの場に（提案型3年目）

磯部寺山会 代表 中村孝道さん(磯部町)

室町時代に開基された宝寿院跡地を、各種団体と連携し、幅広い年代が利用でき魅力ある公園として整備しました。具体的には今年度、市の花である山吹の植栽やベンチ・テーブル等の補修を行いました。また、秋のイベントでは「秋の公園でシルバー体操会」を開催し地域の交流を深めました。さらに、俳句ポストへ投函された俳句の数は県内外含め現在80句程度となり活動の広がりを見せています。なお、投句作品は県俳句作家協会の副会長に選句を依頼し、県協会との連携を深めています。今後も市内外との交流・親睦を図るとともに、地域の魅力を広く伝えていけるように取り組んでいきます。



北・南大門城址を地域活性化の原動力へ（提案型2年目）

大門城址と自然を守る会 代表 大和田清見さん(下大門町)

歴史的遺産や自然資源の整備をとおして、地域の活性化を促し交流人口の拡大を図っています。今年度は、参加者を募り年2回大門北城址、大門南城址および国見要害があった国見山に登るイベントを5月と11月に開催し、約50人が参加しました。また、各城址から国見山までのコース約2kmを整備するとともに、大門北城址の整備や郭や堀切等の案内板を充実させました。さらに、集会所に案内板を設置し、散策者へ歴史や自然を学ぶ機会を創出しました。情報発信の分野では、YouTubeチャンネルを作成し発信力の強化を図っています。今後も県内外から多くの方が訪れてもらえるよう、より安全で利用しやすい環境を整え、地域を盛り上げていきたいです。

